

伝統の技・蒔絵（体験） — 蒔絵のブローチを作る —

講師 = 加藤 ^{カトウ} 寛 ^{ヒロシ} (本学文学部教授)

時間 = 13:30 ~ 15:30

受講定員 = 20人

受講料 = 10,000円

テキスト：オリジナルのテキストを配付します。

教材費：10,000円（蒔絵用小筆、鼈甲素地など）
〔第1回受付で集めます。〕

ご持参いただくもの：エプロン

スケジュール

- ① 11月 4日（火） 図案作成、置目、蒔絵、粉蒔または螺鈿
- ② 11月11日（火） 蒔絵研ぎ出し、摺漆
- ③ 11月18日（火） 胴擦り、磨き、摺漆
- ④ 11月25日（火） 磨き
- ⑤ 12月 2日（火） 金具取り付け

講座内容

蒔絵は漆で文様を描き、その上に金や銀の粉を蒔きつけて文様を表すところから蒔絵とよばれています。今回は、奈良時代から日本独自の伝統工芸として世界に輸出されている蒔絵を、鼈甲の素地の上に描いて装身具を作る華麗な技を学びます。

皆さん、楽しく学びながら、ご自分だけの蒔絵のブローチを作ってみませんか？

講師プロフィール

1976年東京芸術大学大学院修士課程美術研究科漆芸専攻修了。
1991年東京国立博物館資料第一研究室長、2004年東京文化財研究所修復技術部長を経て、2008年より鶴見大学文学部教授。